

次代に引き継ぎ

変革し

新たに創るもの

いま 我々が

問うべき

大きな戦略

資本主義の未来

我々は

現在の資本主義を

いかなる資本主義に変革し

次代に引き継ぐべきか

現代において

区別し難い

二つの言葉

変革

Innovation

進化

Evolution

意志的な変革と

創発的な進化の

弁証法

これから

資本主義は

どのような資本主義へと

進化していくのか

未来を
予見するための
哲学

弁証法

ヘーゲル

マルクス

禅の思想

西田幾多郎

事物の螺旋的發展 の法則

この世界は

螺旋階段を登るように

進歩・発展する

古く懐かしいものが
新たな価値を伴って
復活する

いま 世の中に溢れる

螺旋的發展

ネット革命が

促す

螺旋的発展

ネット・オークション
と
逆オークション

競り と 指し値

の復活

e メール

手紙の文化
の復活

e ラーニング

家庭教師 や 寺子屋

の復活

なぜ いま

螺旋的発展なのか

ドッグ・イヤー

マウス・イヤー

変化が

加速する時代

螺旋階段を
駆け登っている
時代

では

螺旋的発展の法則
に基づけば

これから
資本主義に何が起こるのか

そのことを

予見するためには

眼鏡を外す

「貨幣経済」という眼鏡

我々が

無意識に陥っている

錯覚

経済とは

「貨幣経済」のことである

との錯覚

「経済学」の視点から

「文化人類学」の視野へ

「貨幣経済」以外にも

存在する

様々な経済原理

「貨幣經濟」

「交換經濟」

「贈与經濟」

「贈与経済」

善意や好意で
相手に価値あるものを
贈与する
経済活動

現代の言葉

ボランティア経済

「ボランティア経済」

「精神の満足」を
目的として
人々が行う経済活動

「マネタリー経済」

「貨幣の獲得」を
目的として
人々が行う経済活動

人類の歴史を通じて

社会を支えてきた

ボランティア経済

家事 育児

家庭内教育 老人介護

地域清掃 地域安全

ボランティア経済が
停止すると

マネタリー経済
も停止する

いま

急速に影響力を拡大している

ボランティア経済

インターネット革命

ウェブ2.0革命

リナックス

ウィキペディア

Q&Aサイト

何が

起こっているのか

事物の螺旋的發展

古く懐かしい
ボランティア経済が

新たな価値を伴って
復活している

では 次に

何が起こるのか

弁証法の

もう一つの法則

対立物の相互浸透

の法則

対立し
競い合っている者同士は

互いに似てくる
そして融合していく

保守党 対 労働党

リアル 対 ネット

銀行 対 証券会社

従って

マネタリー経済と

ボランティア経済も

融合していく

理論的予測

ではなく

具体的現実

アマゾン

グーグル

リナックス

CSRの潮流

と

社会起業家の潮流

二つの潮流は

融合していく

ソーシャル・エンタープライズ

ソーシャル・ビジネス

資本主義の経済原理に

マネタリー経済と
ボランタリー経済の
相互浸透

が起こっている

ここで気がつく

不思議な事実

日本型資本主義

昔から

マネタリー経済と
ボランティア経済が
融合していた

そのことを象徴する

言葉

企業は

本業を通じて

社会に貢献する

利益とは

社会に貢献したことの

証である

企業が

多くの利益を得た

ということは

その利益を使って

さらなる社会貢献をせよ

との

世の声である

「働く」とは

「傍」 (はた) を

「楽」 (らく) に

すること

仕事の報酬は

仕事である

資本主義の進化

日本型資本主義は

その未来を
先取りしていた

ボランティア経済
の復活

マネタリー経済
との融合は

何を意味しているのか

懐かしい価値観

の復活

世のため 人のため

お陰さま お互いさま

公共的な心

新しい公共

資本主義の進化と
表裏一体

荒廃した

社会の文化
人々の意識
を

いかにして変えていくか

インターネット革命
が促す

社会の文化
人々の意識

の変容

意志的な変革と

創発的な進化の

弁証法

世界は

自らを癒す力を

持っている

古く懐かしいものが
新たな価値を伴って
復活する

日本の

価値 思想 精神 文化 が

新たな形で

世界に貢献する時代

世界が

これから向かう

「五つの価値観」の転換

第一の転換

「無限」から

「有限」へ

日本という国

狭い空間

乏しい資源

第二の転換

「不変」から

「無常」へ

日本という国

しなやかな
エゴ・マネジメント

第三の転換

「征服」から

「自然」へ

日本という国

「共生」よりも深い思想

「自然」 (じねん)

第四の転換

「対立」から

「包摂」へ

日本という国

「八百万の神」 「大乘仏教」

の思想

第五の轉換

「効率」から

「意味」へ

日本という国

「大」 「速」 「楽」

のみを価値としない

「小」

「一遇を照らす」

「足るを知る」

「遅」

「急がば回れ」

「大器晩成」

「苦」

「苦勞は買ってでもせよ」

「人生 塞翁が馬」

世界の価値観の転換

日本文化の価値観

その未来を
先取りしていた

ただし それは

単なる

古い価値観への回帰

ではない

これから起こるのは

螺旋的發展

必ず

螺旋階段を

一段 登っている

古く懐かしいものが
新たな価値を伴って
復活する

では その

新たな価値

とは 何か

我々は

何を 次代に引き継ぎ

何を 変革し

何を 新たに創るのか

そして 我々は

さらに

いかなる螺旋階段を

登っていくのか

終